

ERICA FUSION DELAY/FLANGER/ VINTAGE ENSEMBLEモジュールをお買い上げ ありがとうございます!

ERICA SYNTHSフュージョン・シリーズの
モジュールは真空管と半導体の組み合わせによる
暖かく、力強いサウンドと真空管ならではの
オーヴァードライブに秘められた可能性を
あなたのモジュラー・システムにもたらしめます。
ERICAフュージョン・シリーズはサウンド形成回路を
使用するモジュールで構成されます。
VCOにミキサ、オーディオ・トランスフォーマーと
ゲルマニウム・ダイオードを使用した本格的な
リングモジュレーター、VCF、VCA
そしてアナログ・ディレイ/コーラスです。

ERICA FUSION DELAY/FLANGER/ VINTAGE ENSEMBLEモジュールは究極に 分厚いサウンドを奏でるフィードバック・パス、 ディレイ出力における調整可能な

真空管オーヴァードライブを備えたBBDチップを
基にした紛れもない多機能アナログ・エフェクト
モジュールです。
ワイドなレンジを誇る内臓ローパス・フィルターを
調整することでサウンドの可能性はさらに広がるでしょう。
またユーロラックにおいては珍しいヴィンテージ
ステレオ・エンセンブルが本機の特徴です。
ヴィンテージ・センセサイザーにおいて一般的な
このエフェクトは、モノラル・トーン・ジェネレーターや
DCO、FMやあらゆるものから
厚い空間的サウンドと躍動を作り出します。
躍動感あふれる空間的サウンドはディレイと
ローパス・フィルターによって位相が異なるシグナルと
入力ドライ・ソースとのミックスによって完成されます。

機能特徴:

BBDチップx2(1024、4095ステージ)
ディレイ、フランジャーエフェクト
ヴィンテージ・エンセンブル・ステレオ・エフェクト
ディレイ及びフィードバックパスへの真空管オーヴァードライブ
DRY/WETミックス
超低音域生成用のバス・フィルター搭載

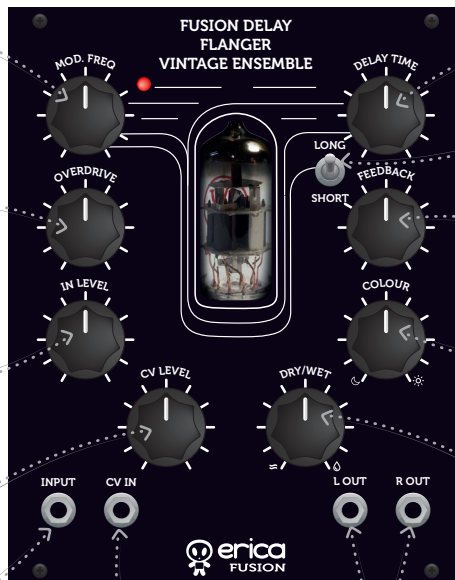
MOD. FREQ
BBDのサンプル・レートと
ディレイ・タイムを
変化させる内臓LFOの周波数を
手で設定します。

OVERDRIVE
ゼロから最大まで時計回りに働く
オーヴァー・ドライブのレベルを
設定します。このノブはディレイ出力と
フィードバック・パスの2つの
真空管オーヴァー・ドライブの
レベルを同時に設定します。
ギターでも是非試してみましょう!

IN LEVEL
入力オーディオ・シグナルのレベルを
調整します。フュージョン・モジュールは
入力シグナル・レベルに非常に繊細な
反応を示します。高レベルのシグナルに
対して特徴的なオーヴァードライブ
エフェクトを生成します。
しかしその際のディレイ・エフェクト音は
鮮明さに欠けるでしょう。

CV LEVEL
内臓及びCVインからの
外部モジュレーションのレベルを
設定するアッテネーターです。

インプット
オーディオ・シグナル入力です。



CVイン
外部モジュレーション・シグナル
(LFOやEGなど)を入力します。
パッチングされると内臓LFO
モジュレーションは自動的に遮断されます。

L/Rアウト
LEFT及びRIGHT出力です。
ヴィンテージ・エンセンブル
エフェクトを堪能するために
ステレオ・ミキサーを
使用しましょう。

DELAY TIME
ディレイ・タイムを手動で設定します。
時計回りに全開でタイムは最長となり、
ディレイ音は最も不明瞭となります。

LONG/SHORTスイッチ
BBDチップを1024か4096から
選択します。

FEEDBACK
フィードバック量を手で設定します。
時計回りに最大に開けば
自己発振状態となります。

COLOUR
このノブでコントロールする
フィルターで高域の倍音をカットし、
超低音サウンドを出力させます。
反時計回りに絞りに絞った状態が
C1やその下に適した設定です。

DRY/WET
入力シグナルとプロセスを受けた
シグナルを滑らかにミックスします。

スペック:

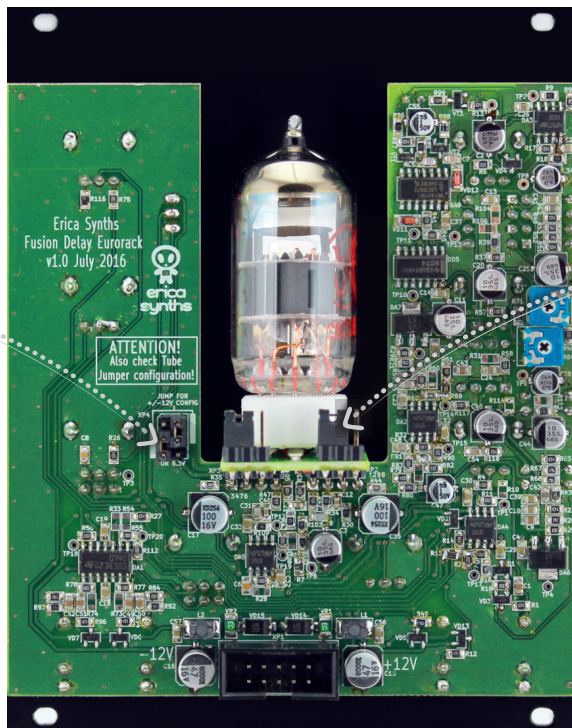
オーディオ入力レベル: _____ 最大20Vpp
SHORT最大ディレイ・タイム: _____ 20ms
LONG最大ディレイ・タイム: _____ 200ms
LFOレンジ: _____ 0.1hz ~ 30hz
パネル・サイズ: _____ 20hp
モジュール奥行き: _____ 35mm
電力消費
真空管ヒーター用電源: _____ 35mA@+12V, 20mA@-12V, 300mA@6VAC
ユーロラック電源: _____ 35mA@+12V, 185mA@-12V

(電源投入後の数秒間に-12Vから250mAを消費するのでご注意ください!)

ERICAフュージョン・モジュールを使用するための電源接続には2通りの方法があります。

1. 最も簡単な使用法はERICA真空管ヒーター用電源である6VACをインストールします。その場合フュージョン・モジュールのユーロラック電源からの電力消費は僅かなものとなります(最大35mA)。ERICAフュージョン6VAC電源は7機のフュージョン・モジュールを稼働させることができます。しかしお使いのユーロラック電源ケースは220VACまたは110VACがケース内を走っています。(一般的なほとんどのユーロラック電源ケースはスイッチングPSUが使用されています。)最新のERICA SYNTHSケースにはフュージョン用真空管ヒーターを電源ボードと接続することができます。真空管ヒーターの電源接続に関しては次ページをご参照ください。
2. 通常の $\pm 12V$ のユーロラック電源だけで使用する場合のモジュールの消費電力は $+12V$ から35mA、 $-12V$ から185mAです。その場合MAKE NOISE製の電源システムなどのケース内を $+12V$ のみが走り、スイッチングICで $\pm 12V$ を生成するシステムがふさわしいでしょう。

通常の $\pm 12V$ のユーロラック電源のみで稼働させる場合はフュージョン用電源コネクターの画像の位置へジャンパーを2つインストールしてください。
フュージョン用電源を使用する場合はジャンパーのインストールは必要ありません。フュージョン用電源のリボンケーブルをここへ接続してください。



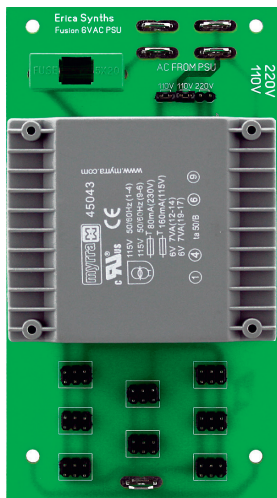
通常の $\pm 12V$ のユーロラック電源のみで稼働させる場合は画像のフュージョン用真空管ヒーターのコネクターの左側へジャンパーを2つインストールしてください。
フュージョン用電源6VACを使用する場合は右側の箇所へジャンパーをインストールします。
ボードに12Vまたは6Vと印字されているので確認してみてください。

ERICA FUSION 6VAC PSU INSTALLATION

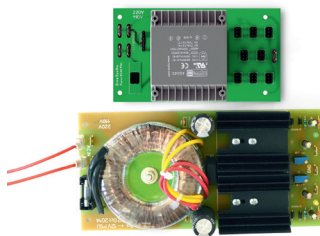


220/110V電圧を扱ったことのある方へのインストールを正しく行うための注意点です。
電源インストール前にあなたのモジュラー・システムの電源を必ず落とし、電源アダプターも取り外してください。

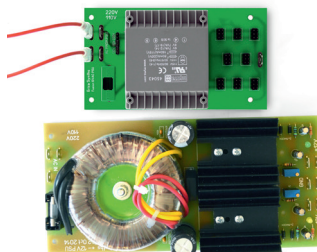
これらのシンプルな方法に基づくことでインストールを正しく行います。



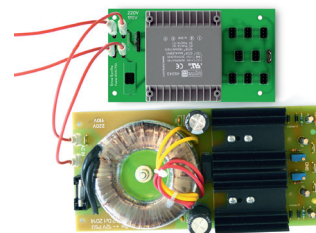
ERICA FUSION PSUキットに付属するスペイサーとスクリーを用いてお使いのケース内のユーロラック電源の隣に固定してください。



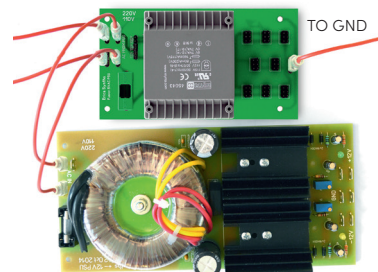
ユーロラック電源の220/110vワイヤーを取り外し、ERICA FUSION PSUに接続します。



ERICA FUSION PSUキットに付属するワイヤーを使用してユーロラック電源に再び接続します。



一方のERICA FUSION PSU 6VACの出力はお使いのモジュラー・システムのGNDへ接続する必要があります。キットに付属するワイヤーを用いてください。
6VACが絶縁されている限り危険はありません。仮にこれらのワイヤー接続をどこか間違えていたとしても恐らくERICAフュージョン・モジュールのサウンドクオリティに影響が出る程度でしょう。



よく頑張りました。これでERICA FUSION PSU 6VACのインストールは完了です。後は演奏を充分に楽しみましょう。

SAFETY INSTRUCTIONS

以下の条件に従ってErica Synthsのモジュールをご使用ください。
以下の条件下での使用のみモジュールの通常動作が約束され、
弊社の保証が受けられます。



水濡れはウォーター・プルーフ加工が施されていない電子機器にとつて致命的です。Erica Synthsモジュールは多湿または水濡れしやすい環境での使用を想定していません。
液体などがモジュール内部へ侵入した場合は電源を直ちに落とし、モジュールを取り外して十分に乾燥させてください。



50°C以上または-20°C以下の環境でのプロダクトの使用は想定されていません。



携帯の際やインストールの際は丁寧に行ってください。
外的要因によるモジュールへの物理的ダメージは保証の対象にされません。



各モジュールは全て弊社で梱包されてから発送されます。
返品、交換または保証による修理での返送は購入時の梱包をお願い致します。
その他の梱包状態での返送はお受けできない場合がございます。
よって購入時の梱包材及び同封書類は保管して頂くようお願い致します。

Erica Synthsのプロダクトの保証条件につきましては以下のウェブサイトをご参照ください。
www.ericasynths.lv

返品、交換または保証による修理での返送は以下にお送りください。
Erica Synths, Andrejostas Str.12, Riga, Latvia, LV-1045

Design and made in Latvia.
User manual by Girts Ozolins@Erica Synths
Translated by Ryo Kuramoto
Design by Ieva Andrupe

Erica Synthsプロダクトに関する質問やお問い合わせはこちらまでご連絡ください。
info@ericasynths.lv

Erica Synthsのその他モジュールやデバイスはこちらをご参照ください。
www.ericasynths.lv